

# 本気でやるから面白い。

輝く高校生⑤



県立新潟高等学校 2年生  
藤田 優さん(水泳・飛び込み)

将来の夢/スポーツに関係する仕事に就く  
得意な科目/数学

スポーツなどに取り組む高校生を紹介します。



## 飛び込み競技に挑む

藤田さんは8月に開催されたインターハイの水泳男子高飛び込みで5位、飛び板飛び込みで6位に入賞したほか、9月に開催された日本選手権の1m飛び板飛び込みで6位に入賞しました。

中学1年生の時にスポーツ庁などが実施したアスリート発掘事業(J-STARプロジェクト)で飛び込みの才能を見出され、競技を始めたそうです。

「飛び込みには高い技術が必要です。特に飛び板飛び込みは板を弾ませて飛び込むので、板と体のリズムを合わせるのが難しいです。得意なことは空中での回転。入水はスランプ気味かな」と藤田さん。週に5日、練習のために専用プールのある長岡市まで往復2時間かけて通います。「勉強との両立は大変です。新しい技が決まった時や拍手をもらえた時、やっていて良かったと感じます」

藤田さんの挑戦は続きます。

## 新連載 新型コロナウイルス感染症

# ストップ STOP! 感染拡大 事例から学ぼう ①



問 保健管理課 (☎025-212-8194)

## 事例1 飲食店を中心に計15人が感染

飲食店Aで従業員1人と客2人が感染し、集団感染につながりました。

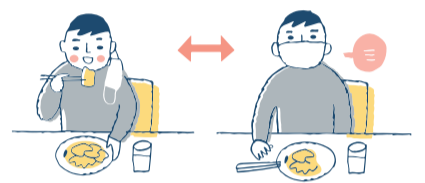
### 何があったか

- ・従業員は体調不良であったが、風邪だと思い出勤した
- ・従業員はこれまでも調理中に時々マスクを外しており、当日もマスクを着用せずにカウンター越しに接客。客もマスクをしていなかった
- ・従業員は翌日39℃の発熱で受診し、PCR検査を受けて感染が分かった
- ・最終的に濃厚接触者が25人、感染者が15人発生した

### どうすれば感染を防げたか

- ・体調が悪いときは出勤せず、電話でかかりつけ医または県新型コロナ受診・相談センターに相談する
- ・日常的にマスクを着用する。食事中も話すときはマスクを着ける

### マスクを着用しよう



## 公共施設を考える③ 地域別実行計画の作り方

新潟市では、市民の皆さんが将来も安心・安全に公共施設を利用できるよう、施設の再編を進めています。

今回は、地域に密着した施設の存続や集約などを決める「地域別実行計画」の作り方についてお知らせします。

問 財産活用課 (☎025-226-2387)

地域の人と新潟市が一緒に作る計画だね!



### その1 計画はどうやって作るの?

#### A. 地域の皆さんと話し合いをして検討していきます

地域住民や施設の利用者などが集まり、地域の課題や、地域が目指す方向性に合った公共施設の再編について検討します。

市が作成する原案を基に再編の形をいくつか考え、それらを比較・検討していくことで、地域にとってより良い計画を地域の皆さんと一緒に作っていきます。



▲過去の話し合いの様子

少人数のグループで話し合うから、みんなが意見を出しやすいそうだね!



これまでに策定した地域別実行計画はこちら▶



### その2 話し合いに参加できない人はどうすればいいの?

#### A. 各家庭に資料を配布し、参加者以外からも意見を募集します

話し合われた内容は、各家庭に配布したり公民館などにパネル展示をしたりして、地域の皆さんにお知らせします。話し合いが行われるたびに参加者以外からも意見を募集することで、多くの人の意見が反映された再編計画としていきます。



▲曾野木地域の新施設完成イメージ

すでに計画を策定した江南区の曾野木地域では、保育園とコミュニティ施設を同じ敷地に建て替えることで、若い人が地域活動に参加しやすくなるように考えられているんだって!



地域によっていろんな工夫ができそうだね。次回は市全体の公共施設の総合管理計画である「財産経営推進計画」について取り上げるよ。

